

形式：対面セミナー（配信あり）

補足： オンライン配信（Live 配信）を実施します。会場受講が難しい場合はオンラインでご受講ください。なお、【見逃し配信はありません】ので、リアルタイムでご参加ください。

ジャンル：汎用スキル（QC、ものづくり、ビジネス）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 2 1 9 r 1

まず、未然防止の考え方や FMEA の基本について解説し、それを踏まえて、設備や工程を対象にして、どのように FMEA を進めていくのか、その考え方を解説します。とりわけ設計部門との連携が重要になってきますので、それについて詳しく解説します。

## FMEA の基本と 設備 FMEA・工程 FMEA への応用

講師：CS-HK 代表 上條仁 氏

品質技法コンサルタント。FMEA・DRBFM、FTA、QFD（品質機能展開）などを活用した未然防止や品質向上、発明的問題解決手法（TRIZ）、ISO9001、IATF16949 を専門とする。1983 年（株）日立製作所入社。半導体設計開発に従事した後、半導体グループ品質信頼性保証本部にて ISO/TS16949（現 IATF16949）を認証担当 兼 全社品質改善活動担当として品質機能展開等の日立全社での普及・展開活動を推進する。2002 年（株）日立製作所退社し、CS-HK 設立。大手企業を中心に品質技法コンサルタントとして活動中。著書には『本気で取り組む FMEA』（日刊工業新聞社）、『本当に役立つ TRIZ』（日刊工業新聞社・共著）、『常識をくつがえすものづくり発想法講座』（工学研究社・共著）がある。

- 日程 2025 年 2 月 19 日（水） 10:30 ~17:00
- 会場 東京 ※都内中心部で調整中
- 受講料 対面受講 **33,000 円**（税込）／オンライン受講 **36,300 円**（税込） ※12/19 までのお申込で **2 割引** となります

### <こんな方にオススメです>

- ✓ 設備 FMEA・工程 FMEA を始めたいと思っている方
- ✓ 現在の設備 FMEA・工程 FMEA が上手くない（非効率）と感じている方
- ✓ 設計部門と連携して効果的な FMEA を実施したいと考えている方

### <プログラム>

#### I. FMEA の考え方、未然防止活動とは

1. 本来の未然防止とは
2. 未然防止の区分け
3. FMEA と FTA
4. FMEA が上手くない理由と事例
5. 上手いかない工程・設備特有の理由

#### II. FMEA の基本的な進め方

1. FMEA の前後
2. 有効な道具とその使い分け
3. 効率的な未然防止活動の実施時期とは
4. 的を射る（重点化実施する）ためには
5. きっかけ（インプット）の明確化のために
6. FMEA の作成・手順

#### III. 設備 FMEA・工程 FMEA へ

1. 設備・工程 FMEA のインプットとは
2. 設備と工程を分けるメリット

#### IV. DR（デザインレビュー）での有効活用

1. DR の本来の姿とは
2. DR に対する誤解
3. DR の分類と明確化について
4. DR の効率化による未然防止の有効化

#### V. 事例紹介

### <学べること>

- ✓ FMEA の未然防止活動の考え方
- ✓ 未然防止に役立つ FMEA の基本事項
- ✓ 設備 FMEA と工程 FMEA の考え方
- ✓ 設備 FMEA と工程 FMEA の効果的なやり方

### <講義概要>

これまでの FMEA セミナーはベーシックな「設計 FMEA」を中心に解説してきましたが、生産技術部門や製造部門の方からの根強いリクエストにお応えするため、本講座では「設備 FMEA」と「工程 FMEA」の効率的・効果的な実施方法について解説します。

「設備 FMEA」と「工程 FMEA」といっても、基本的なところは変わりませんので、前半では未然防止の考え方や FMEA（設計 FMEA）の進め方について解説します。それを踏まえて後半では、設備や工程を対象にして、どのように FMEA を進めていくのか、その考え方を解説します。特に、設計部門（設計 FMEA）との連携が重要になってきますので、それについて詳しく解説します。生産技術・製造・生産管理部門の方で FMEA に興味があるという方は是非ご参加ください。

# <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

<b>申込講座</b>	2025/2/19 FMEAの基本と設備 FMEA・工程 FMEAへの応用	<input type="checkbox"/> 対面受講 <input type="checkbox"/> オンライン受講
<b>会社名※</b>		
<b>所在地※</b> <small>（請求書等の送付先）</small>	〒	
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>	<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>	<b>FAX</b>
	<b>Email※</b>	<b>役職</b>
	<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>	<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>	<b>FAX</b>
	<b>Email※</b>	<b>役職</b>
	<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
<b>備考※</b>		

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先：entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		